

「必要な調査した」
野党要求に答弁
森法相、衆院法務委
森雅子法相は22日の
衆院法務委員会で、新
聞記者らと賭けマーシ
ャンをしていた問題で
東京高検検事長を辞職
した黒川弘務氏の再調
査を求める野党議員に
対し、同省として「必
要な調査を行ったと認
識している」と答弁し
た。

法務省の川原隆司刑
事局長は、黒川氏が調
査に「『3年前から月
1、2回程度の賭けマ
ーシャンをしていた』
と認めた」と明らかに
した。黒川氏の処分が
軽いとして訓告処分の
理由を追及した日吉雄
太氏（国民、衆院比例
東海）に対しては、「3
年前から賭けマーシヤ
ンをしていることは処
分の前提になっている
が、常習性は認定でき
ず、総合的に判断した」
と説明した。

日吉氏ら野党議員は
「日程や回数など十分
な調査をせずに常習性
を否定するのはおかし
い」と指摘し、森法相
に再調査と処分の見直
しを改めて要求した。
（東京文社・内田圭美）

2020年5月23日 静岡新聞(朝刊)